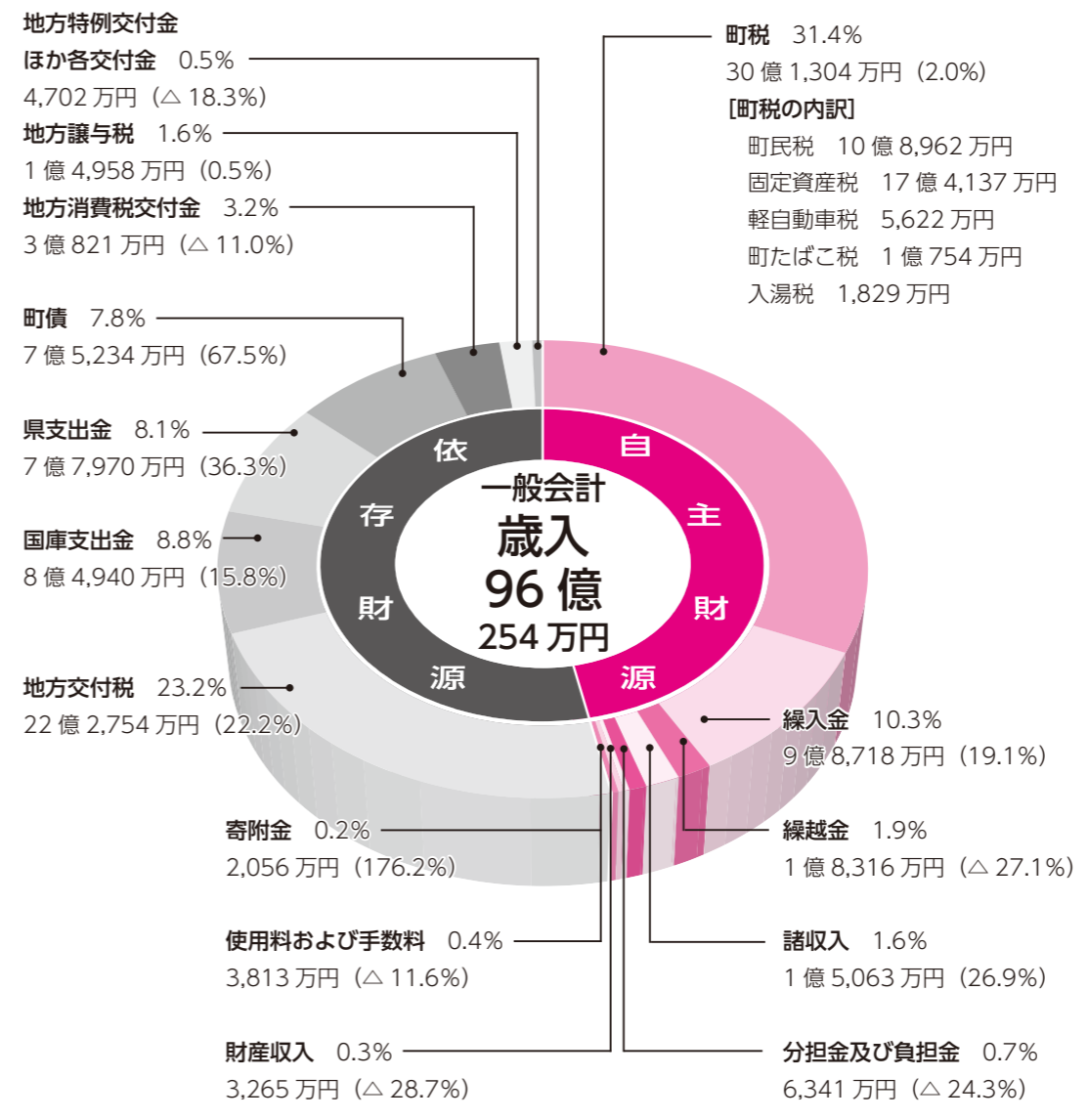
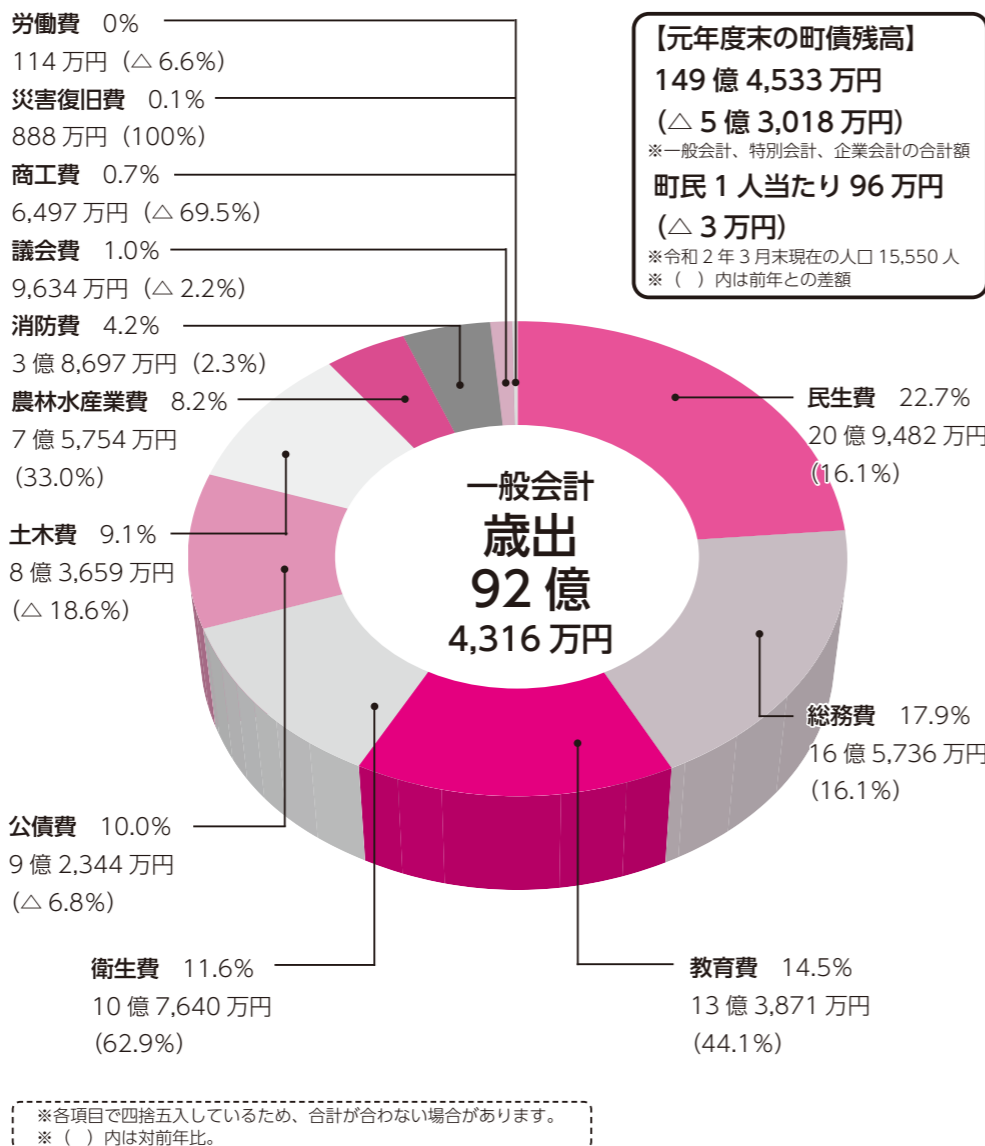


決算

令和元年度の町の決算がまとまりました。昨年度1年間、町のお金がどのように使われたのかお知らせします。

- 令和元年度一般会計 決算の説明**
- 【歳入】**
- ▶町税…固定資産税の増
 - ▶地方交付税…震災復興特別交付税の増
 - ▶国庫支出金…子どものための教育・保育給付交付金、子ども子育て支援臨時交付金の増
 - ▶県支出金…畜産クラスター事業補助金の増
 - ▶町債…南方幼稚園増築工事、一の台住宅団地法面対策工事による増
- 【歳出】**
- ▶民生費…プレミアム付商品券事業や保育園運営委託料の増
 - ▶総務費…まちづくり施策提言調査研究業務や一の台住宅団地法面対策工事、選挙費の増額による増
 - ▶教育費…南方幼稚園増改築工事や学校教育施設エアコン設置工事、生涯教育の町40周年記念行事等による増
 - ▶衛生費…胆江地区衛生センターごみ焼却施設長寿命化に伴う負担金の増額による増
 - ▶農林水産業費…肉用牛繁殖センター施設整備に伴う補助金等による増



特別会計・企業会計の決算状況

町には特定の収入を特定の支出に充てて一般会計とは別に経理する特別会計がありますが、特別会計はすべて黒字で運営されています。

また、町には公営企業会計として水道事業会計と下水道事業会計があり、水道事業会計については、収益的収支で4,800万円の純利益を計上しており、安定した経営となっています。下水道事業会計については、収益的収支で9,900万円の純利益を計上しましたが、資本的収支では3億3千万円もの不足となっており、厳しい経営状況となっています。

▶令和元年度特別会計の決算額

特別会計名	歳入	うち一般会計繰入額		歳出
		歳入	歳出	
国民健康保険	13億 8,623万円	1億 633万円		13億 5,621万円
訪問看護ステーション	2,321万円	361万円		2,208万円
介護保険	介護保険事業勘定	14億 5,326万円	2億 1,845万円	14億 3,212万円
	介護サービス事業勘定	368万円	50万円	354万円
国民健康保険診療施設	医科勘定	3億 2,937万円	1億 2,324万円	3億 1,508万円
	歯科勘定	5,072万円	1,216万円	4,795万円
後期高齢者医療	1億 3,733万円	3,640万円		1億 3,655万円
合計	33億 8,380万円	5億 69万円		33億 1,353万円

▶令和元年度企業会計の決算額

企業会計名	収入	うち一般会計繰入額		支出
		収入	支出	
水道事業	収益的収支 (税抜)	3億 4,797万円	333万円	2億 9,983万円
	資本的収支 (税込)	468万円	468万円	6,242万円
下水道事業	収益的収支 (税抜)	8億 3,539万円	3億 7,729万円	7億 3,624万円
	資本的収支 (税込)	3億 5,908万円	3,640万円	6億 9,061万円

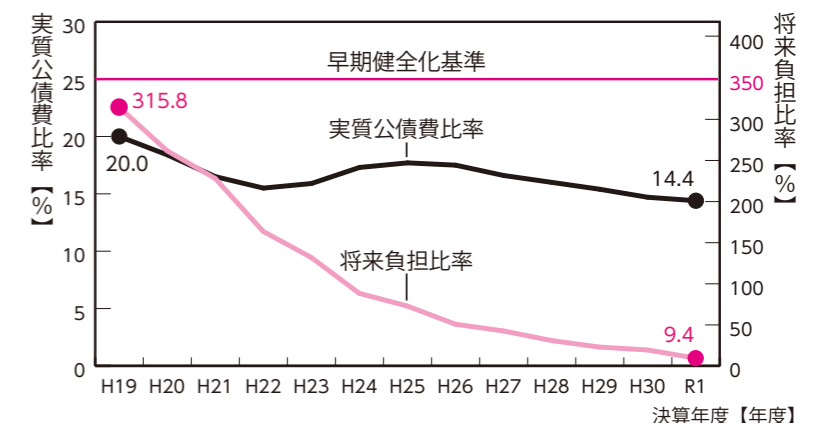
※資本的収支で収入が支出に対して不足する額については、収益的支出の「減価償却等の非現金支出 (損益勘定保留資金)」や前年度からの繰越資金、当年度純利益などで補填しています。

町の財政状況 各指標とも早期健全化基準をクリア

自治体の財政状況をチェックし、財政破綻を未然に防ぐため、国は平成19年、いわゆる財政健全化法を定めました。この法律では財政指標により自治体の財政状況をチェックし、基準(早期健全化基準など)を上回った自治体には、財政運営に当たり様々な制約が課せられます。

町の令和元年度決算に基づく指標は「早期健全化基準」を下回っており、財政状況は健全であると言えますが、高齢化に伴う社会保障関係経費の増加や施設の老朽化対策など厳しい財政状況が予想されることから、限られた財源を有効に活用しながら財政運営の健全性を維持していく必要があります。

グラフ 主な財政指標の推移



【用語説明】

- ▶**実質公債費比率**…年間の借金返済額が町の標準的な年間収入の何%に当たるかを示したものの過去3年間の平均値
- ▶**将来負担比率**…現在の借金総額等が町の標準的な年間収入の何%に当たるかを示したもの